

# アスベスト(石綿)に係る相談窓口の設置について

鹿児島県では、アスベスト(石綿)に係る質問などを受け付けるために、下記のとおり相談窓口を設置しております。健康相談、建物などについて個別に受け付けておりますので、質問、相談などにご利用ください。

## (総合窓口)

県庁環境生活部環境管理課 ..... ☎099-286-2627

## (個別の相談窓口)

### 1 健康相談などの相談窓口

鹿屋保健所 ..... ☎0994-43-3121

県庁保健福祉部健康増進課 ..... ☎099-286-2714

### 2 建物に関する相談窓口

鹿屋土木事務所 ..... ☎0994-44-7546

県庁土木部建築課 ..... ☎099-286-3710

県庁土木部住宅課 ..... ☎099-286-3738

県教育庁学校施設課 ..... ☎099-286-5238

## ●アスベスト(石綿)とは？

アスベスト(石綿)は、天然の鉱物繊維で「せきめん」「いしわた」と呼ばれています。

その繊維が極めて細かいため、研磨機、切断機などの施設での使用や飛散しやすい吹き付け石綿などの除去などにおいて、所要の措置を行わないと石綿が飛散して吸入してしまう恐れがあります。以前はビルなどの建築工事において、保温断熱の目的で石綿を吹き付ける作業が行われていましたが、昭和50年に原則禁止されました。

その後も、スレート材、防音材、断熱材、保温材などで使用されていましたが、現在では、原則として製造などが禁止されています。

アスベスト(石綿)は、そこにあること自体が直ちに問題なのではなく、飛び散ること、吸い込むことが問題となるため、労働安全衛生法や大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律などで、予防や飛散防止などが図られています。

## トマトが実らない病気をご存じですか。



なんぐう地区で、「トマト黄化葉巻病」というウイルス病が発生しました。この病気は、TYLCV(トマトイエローリーフカールウイルス)というウイルスによる病気で、一度かかると治療することはできません。

トマト黄化葉巻病の病徴は、生長点の葉が縁から黄色くなり、葉が萎縮し、病気が進行すると、頂部の節間が短くなり、株全体が萎縮します。

また、この病気の恐ろしいところは「感染するとトマトが実らなくなる」ということです。トマト農家にとっては、非常に大きな問題です。

このトマト黄化葉巻病のウイルスは、「シルバーリーフコナジラミ」という体長1mm程度の白い虫が伝染します。(ウイルス病は、治療することができませんので、感染した株を抜き取り、伝染するコナジラミを防除し、侵入を防止するしかありません。)

トマト黄化葉巻病は、「さやいんげん」にも感染し、葉が縮むなどの病徴がでます。

また、「ピーマン」や「ばれいしょ」雑草など多数の植物に感染します。当然ですが、家庭菜園のトマトでも発生が懸念されます。

コナジラミの防除を徹底するとともに、ほ場周辺の除草を行い、コナジラミが増える要因を無くしましょう。

**皆様のご協力をお願いします。**

**詳しくは、役場経済課、JA、普及センターにお尋ねください。**